

平成22年度 地区別懇談会開催



桐原会長挨拶(東京会場・九段校舎)



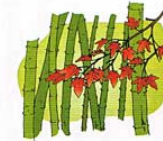
渡辺学長挨拶(千葉会場・柏校舎)

二松学舎大学 父母会報

平成5年5月10日創刊
平成22年10月20日発行
(第70号)

二松学舎大学父母会
(本部)東京都千代田区三番町6番地16
(事務局)千葉県柏市大井2590
〒277-8585 TEL.04(7191)8756
二松学舎大学柏事務課

題字は
故 観山貞廣常吉先生書



平成二十二年度二松学舎大学地区別父母懇談会が、六月十九日(土)の長野市・仙台市を始めとし、全国九都市(開催日程順に盛岡市・東京都(九段校舎)・柏市(柏校舎)・大分市・高知市・山口市・広島市)で開催された。

今年で十八回目を数えるこの懇談会は、父母会の主要事業の一つとして実施されている。今年も学長・副学長・学務局長・学部長・学科主任・大学職員が各地に赴き、本学学生の父母に大学の現況、本学の教育方針等を説明し、将来計画等への理解・協力を求めた。併せて学生個々の学習・生活・就職活動等についての説明の後、意見交換が行われた。

本学九段校舎・柏校舎では、四年次生による「就職内定報告会」も行なわれた。キャリアセンターの取組みや、現在の就職活動の様子を知る事ができて参考になったと、大変好評であった。

各会場では、参加者の関心が、学生の履修状況に関する事、就職状況に集中していたことが印象的であった。又、懇談会に出席することにより、大学の姿勢が理解できたとの感想も寄せられた。



岩手会場

石川 仙平

この春に国際政治経済学部を
敵いた愚息の息災と学業専念を遠き
みちのくの地より祈り居りましたと
ころ、五月に入り地区別父母懇談会
岩手会場開催のご案内を頂戴し、こ
れ幸いと参加いたしました次第です。

六月二十日の当日は、時折激しく
降る雷雨で生憎の天気でしたが、大
学より遠路渡辺和則学長と志村孝教
学課長に出席いただきました。私ど



も父母は八名の出席でした。

渡辺学長がご挨拶の中で述べられ
た、二松学舎大学は創立者中洲の建
学の理念を百三十三年にわたって受
継いでいること、ゼミナールを中心
に少人数教育を基盤として学生と教
員の距離感が近いこと、学問の土台
である基礎的部分の修得を目指して
いること、そしてキャリアセンター
で四年間キャリア教育を実践してい
ることは、大学が学生一人ひとりを
細やかに指導されている証として、
大いに安心いたしました。

続いて志村孝学課長から大学の現
況、学生の学習状況や年間スケジュ
ール、履修と成績評価、卒業・進級
の要件や就職状況等について説明い
ただき、親心ながらこれまた大いに
安心いたしました次第です。

その後の意見交換や個別相談では
学長自らいろいろな質問に丁寧に
答えいだき大変ありがたうござい
ました。

我が子が今後どのように学業修得
していくかは本人次第ながら改めて
本学で学べる事を喜び感じました。

東京会場

野口 明美

今年四月より娘が文学部にお世話
になっております。七月三日土曜日、
東京会場での地区別父母懇談会に参
加いたしました。当日を楽しみにし
ておりましたが、急用のため、やむ
なく午後から参加いたしました。午
前中は学部長による学部の現況報告
と、学習状況や学生生活についての
ご報告などがあったとのこと。大変
残念でしたが、又の機会に是非伺い

たいと思いました。
午後の部は、昔就職難が伝えら
れる中で早々に内定を手中にされた
政治経済学部四年生の講演があり、
インターンシップに参加されるなど
の積極的な姿勢や、話しぶりににじ
み出る誠実な人柄が評価されたので
あると深く納得できるものでした。
講演の後の個別面談では、履修科
目の偏りや無理はないのか等伺いま
したが、履修登録科目一覧を用意し
ていただいております、特に大きな問題
は無いことや、担当者がチェックし
て問題があれば指導していること等
きめ細かい履修指導が行われている
ことを確認し、安堵いたしました。



面接の待ち時間には、都心部であ
りながら緑に恵まれた見事な眺めを
堪能し、図書館施設なども見学いた
しました。施設面と人的支援面とも
に充実した教育環境であることを肌
で感じる事ができました。

このような機会を作っていただい
たことに御礼申し上げますとともに、
二松学舎大学と父母会の益々の発展
を心より祈念いたします。

六月十九日(土)の長野県・宮城県を皮切りに全国各地で懇談会
が開催され、父母と大学教職員の交流が行われました。その内容
を寄稿していただきました。

長野会場

田浦 一也

六月十九日土曜日、長野市に於い
て、本学より中山国際政治経済学科
主任と菅原柏事務課長にご出席をい
ただき地区別父母懇談会が行われま
した。一昨年の新潟会場での参加以
来夫婦で参加いたしました。出席者
は、地元長野・新潟・東京から一年
生から四年生迄の父母十二名の参加
で行なわれました。父母の簡単な自
己紹介の後、中山国際政治経済学科
主任より本学の現況・履修登録・卒
業要件・GPA制度についての説明、
その後菅原柏事務課長より就職、学
習状況の説明がありました。また学生
の出席状況を調査し、指導を行っ
ているとの説明をいただき地方より
親元を離れての生活を送っているた
め心配でしたが、細やかな指導・配
慮に安心をいたしました。

昼食を食べながらの意見交換では、
父母の要望に対して真摯に受け止め
ていただき感謝申し上げます。
当日の個別相談の申込みに対しても
快く了承下さり、履修登録表・通

知書をもとに就職を視野に入れた説
明、細かなアドバイス等をいただき
ありがとうございました。
出席いただいた父母にとっては、
学生生活の心配・就職への不安等多
くの情報交換がなされ有意義な時間
がもてました。
このような会を開催していただき
心より感謝いたします、今後の大学と父
母会の益々のご発展をお祈りいたし
ます。



宮城会場

佐藤 信常

六月十九日JALシティ仙台にて
開催された地区別父母懇談会に福島
県より参加しました。会には十九名
の保護者が出席し、学長さんを始め
職員の方々のご配慮のもと和やかに
進行了しました。

大学の現況については、コミュニ
ケーションを重視していること、学
生一人一人を大切にすることに、学
生は自分の存在感を見出すことが
できこの大学を選んで間違いないか
つたと思える大学を目指していること、
ひいてはそれが大学の発展に繋がっ
ていく、というお話をいただきました
。また、昼食時には映像によるキ
ャンパス紹介もあり、なかなか訪れ
ることの出来ない大学が更に身近に
感じられました。

百有余年の歴史を持ち、世に多く
の優秀な人材を輩出している二松学
舎大学は、特に日本の国語教育にお
いては大きな役割を担っていると思
います。娘はかねてより、国文学を
専攻し教員を目指したいという希望
からこの大学に巡り会えた訳ですが、
教員採用試験を見据えた就職支援セ
ンターが新設されたことは大変心強



く思います。
この就職難の時代学生にとつては
訓練の時ですが、最後まで努力する
ことは必ずや人生の良い経験となる
という学長さんの言葉通り、大学で
学んだことを生かし自己実現を果た
さんことを望んでやみません。
最後にご発展を祈念申し上げます。



梅雨の晴れ間の七月十日、多数の参加者の下、緑広がる柏校舎にて地区別懇談会が開催されました。

午前は、父母会長の挨拶、渡辺学長、江藤文学部長、鈴木国際政治経済学部部長から、大学や各学部の状況、学生の様子などを拝聴しました。また、資料に沿って、学年暦・履修登録と卒業要件・GPA制度・資格取

得等、詳しく説明して頂き理解を深める事が出来ました。キャリアセンタ―からの就職水河期の就職現況や様々な就職支援体制についてのお話に聞き入りました。
昼食は、食券を頂き学食を試食しました。値段も量も手頃で、おいしかったです。その後の空き時間で、立派な図書館を見学しました。柏キヤンパスは、自然が豊かで明るく、のびのびとした印象を受けました。
午後は、就職内定報告の講演がありました。内定を勝ち得た四年生が自らの体験を語って下さいました。具体的で貴重な内容は、就活に臨む学生だけでなく、親・家族の所行についても参考になりました。
終了後は、希望者を対象に個別相談が設けられ、個々の相談に懇切丁寧に応じて下さいました。大学・先生方との距離が身近に感じられ、きめ細かで面倒見の良さに感服、有り難く思いました。娘が素晴らしい学校で学べる事を幸せに思います。
御蔭様で有意義な一日でした。
今後とも二松学舎大学と父母会の益々のご発展を祈念致します。

高知会場

内田 洋子

今年の四国地区父母懇談会は、七月十七日、坂本龍馬人気で話題の土佐・高知で開催されました。大学からは江藤茂博文学部長、山崎修教学課課長補佐のお二人がお越しになり、大学の現況や今年度の学生の就職状況について等ご説明いただきました。その後は、出席者が私共二人だったので個別の話題に移りました。充実した内容でしたが、遠方よりお運びいただいた先生方には、出席者が少なく大変申し訳ない思いでした。

今回、私共が両親揃って地区別父母懇談会に出席したのは、子供が一年次に体調を崩して単位が取れなかったことを案じたためです。懇談会では親の不安をお察しいただき、子供の基礎ゼミの先生の話や今年度の履修状況等をもって安心致しました。先生方には親身になって対応していただき、懇談会に参加して本当に良かったです。感謝致しております。

後日談ですが、子供が柏校舎の学食で江藤先生にお会いする機会があったそうです。その時に父母会のお話をされて、しっかりとがんばるように励ましてくださったとのこと。直接



声をかけていただいていた本人も恐縮したようですが、親としてもお心遣いを大変有難く思いました。学生を大切にしたいと細やかにご指導くださる二松学舎のぬくもりを感じました。是非多くの方が懇談会に参加して、二松学舎の良さを味わってほしいと思います。これからも大学及び父母会の益々のご発展をお祈り致します。

山口会場

桂 宏子

七月二十四日、うだるような暑さの山口県を会場に、渡辺学長、井上教育学部長のご臨席のもと、地区別父母懇談会が開催されました。

娘が一年生の時は福岡会場に父親が参加し、二年生の時は近くても宮崎県が香川県でしたので、残念ながら不参加。そして今年是有り難いことに地元山口県での開催。何はさておき参加いたしました。

残念なことに参加者は私一人という寂しいことでしたが、娘の就職について直接渡辺学長とお話ができました。娘の希望先は狭き門ですが、諦めることなく行動を開始している様子など聞いていただき、懇談の最後には「是非娘さんには希望を叶えてもらいたいなあ」と励ましのお言葉までいただき、大変有意義な懇談会となりました。

翌日娘に懇談会の様子を話すと、私が娘のことを少々しゃべり過ぎたらしく批判されましたが、夢の実現を応援して下さいることに応えるよう頑張りたいと話しておりました。子と親とそして大学の三者の関係



を大切に下さっている大学に感謝申し上げます。地方ではまだまだ印象の薄い二松学舎大学かもしれませんが、娘に聞く魅力のある授業をされる素敵な先生方に多く出会いたいと考えているとのことなので、入学させていただいて本当に良かったですと安心しております。
「2」な大学に感謝!!

千葉会場

斉藤 美奈子

得等、詳しく説明して頂き理解を深める事が出来ました。キャリアセンタ―からの就職水河期の就職現況や様々な就職支援体制についてのお話に聞き入りました。

昼食は、食券を頂き学食を試食しました。値段も量も手頃で、おいしかったです。その後の空き時間で、立派な図書館を見学しました。柏キヤンパスは、自然が豊かで明るく、のびのびとした印象を受けました。

午後は、就職内定報告の講演がありました。内定を勝ち得た四年生が自らの体験を語って下さいました。具体的で貴重な内容は、就活に臨む学生だけでなく、親・家族の所行についても参考になりました。

終了後は、希望者を対象に個別相談が設けられ、個々の相談に懇切丁寧に応じて下さいました。大学・先生方との距離が身近に感じられ、きめ細かで面倒見の良さに感服、有り難く思いました。娘が素晴らしい学校で学べる事を幸せに思います。
御蔭様で有意義な一日でした。
今後とも二松学舎大学と父母会の益々のご発展を祈念致します。

大分会場

伊藤 公祥

猛暑の続くなか、大学より吉崎一衛副学長と小西明徳学務課長の御臨席をいただき、七月十七日に九州地区父母懇談会が大分市で開かれました。会場は大分センチュリーホテル松の間で十一時から十四時まで開かれました。

参加者は、佐賀県伊万里市から一組の御夫婦、大分県日田市から御婦



人が一人そして別府市より私共夫婦の五人の参加でした。皆さん少しく着かれ、開始前に少しですが雑談もでき、良い雰囲気となりました。
DVDを写しながら、大学の現況についての話や、三号館完成により大学の九段への集約を図るとの説明にはうれしく思いました。本年度の新入生からは四年間九段で授業を受けられます。また柏キヤンパスには来春附属中学が開校され、中・高・大の一貫教育が出来るようになるとのことでした。
学生の学習状況・学生生活についての説明があり、意見交換のあと昼食へと移りました。昼食後、雑談も出来ました。大学の一号館十三階ラウンジからは建設中のスカイツリーが見えるとのこと、一度上京して見たいとの思いがつのりました。
十三時からは個別にそれぞれの個人面談に移りました。親切に、また丁寧なそれぞれの子弟について相談に乗っていただきました。吉崎副学長、小西学務課長、遠い大分まで足を運んでいただき、ありがとうございます。

- ⑤ 受けた会社の調べ方について(どの様なツールを使ったか)
- ◆ 合同説明会や個別の会社説明会で直接話を聞く。
- ♥ 就職サイト、会社のホームページ、説明会での資料等。就職サイト上では、企業の人事の方がブログで企業アピール的な事をしていたりもするので、チェックしていました。

⑥ 合同企業説明会への参加回数

- ◆ 六回
- ♥ 七回程度



4年生による就職内定報告

- ⑦ 個別の会社説明会へ参加した社数
- ◆ 十一社
- ♥ 八社

- ⑧ 実際に採用試験を受験した社数
- ◆ 九社
- ♥ 五社

⑨ 面接で聞かれた事柄

- ◆ 自分の性格について。自分から見た性格と、他人からはどのような性格だと思われるか。
- ◆ 会社に入って何がしたいか。
- ◆ エントリーシートの自己PRや長所、短所などの内容について。
- ♥ 自己PR、志望動機、頑張ってきた事は毎回聞かれました。
- ◆ 履歴書・エントリーシートの内容について追求。
- ◆ 特技の披露
- ◆ 心理的な質問

etc.:

⑩ 就職活動で苦労したこと

- ◆ 自己PRがなかなか書けなかった。
- ◆ 筆記試験
- ◆ グループディスカッション
- ♥ 個別企業の説明会の予約がすぐに定員に達してしまうため、説明会に参加するまでが大変でした。

- ⑪ 上手くいかなかった時の対応方法について
- ◆ 気持ちを切り替える。
- ◆ 相談する。
- ◆ 行きたい企業を複数持つておく。そうすれば、一つうまくいかなかったも、他にも同じくらい行きたい企業があるのだから、そちらに気持ちを切り替えられる。

- ♥ 就職氷河期ということもあり、実際に説明会等の予約も取れないことを実感したので、履歴書やエントリーシートの記入から一社一社丁寧に取り組みました。

⑫ 就職活動中よく相談した人

- ◆ キャリアセンター、友人、家族
- ♥ 家族や友人にはもちろんですが、キャリアセンターの方々にも相談に乗っていただきました。

⑬ キャリア教育や就職特別講座について

- ◆ キャリア教育は①②③を取りました。キャリア教育④は公務員講座を受けていて履修できなかった。なので、個人的にキャリアセンターに行つて内容を聞いたり、プリントをもらっていました。就職特別講座では、筆記対策などを行いました。



- ♥ 講座を受講していたからこそ、就職状況等の情報収集ができ、周りに出遅れることなく就職活動に取り組むことができたと思います。

⑭ キャリアセンターの活用について

- ◆ エントリーシートの添削やメールと電話などで常に自分の現在志望する会社と順位を報告し、その会社に対してのアドバイスをしていただきました。
- ♥ 模擬面接や企業に送るお礼状、送付状の書き方等細かく指導していただきました。春休み中にも、気になる点がある時には、キャリア

広島会場

金子 徹

七月二十五日猛暑の中、四年ぶりに広島での父母懇談会が開催されました。大学からは渡辺学長自らがご来広くださり、教育学部長の井上先生とともにご臨席を賜りました。保護者は香川県からの方一名を含め、四名の出席でした。普段お会いすることのない学長との懇談会とあっていささかの緊張と興奮を覚えました。

最初は学長自らが大学の入試状況をはじめ現況について細やかにご説明くださり、安定した大学経営の状況に保護者一同、安心をした次第です。続いて、井上先生より単位取得状況など具体的なご説明をいただきました。特に就職状況や卒業要件などのご説明は大変参考になりました。保護者からは、卒業認定や就職活動における相談、三年・一年生の保護者からは柏から九段への移動にもなる受講科目の取得に対する心配などの質問がありました。普段離れて暮らし、子どもの姿が見えないだけに、個々の状況に応じてご説明をいただき、親としてとてもわかりやすく、嬉しく思いました。また、大学に戻つたらゼミの先生や教学部から



も声をかけをしましよとおっしゃっていただけたことはとても心強く有り難く感じました。保護者としては子どもたちがしっかりと前に進んでくれることを願うばかりです。最後に、二松学舎大学の今後益々の発展を心より願っております。

平成二十二年度 地区別父母懇談会 就職内定報告

【報告者】
 東京会場 国際政治経済学部 四年 田中 伸矢さん ◆
 千葉会場 国際政治経済学部 四年 佐藤 しづかさん ♥

地区別父母懇談会の東京会場・千葉会場では、キャリアセンター主催「四年生による就職内定報告会」が行われました。二名の学生から、次の様なテーマに基づいて報告がありました。

時からエントリーシートの添削をしてもらっていました。

- ♥ 合同企業説明会は、十月の終わりがら、個別企業の説明会は、十二月の中ごろから参加するようになりました。

① 就職を考え始めた時期

- ◆ 本格的に考え始めたのは、三年生の六月頃です。きっかけは三年生の六月に参加した、インターンシップの合同企業説明会で、多くの学生が参加していて、もう他人は考えているのだと感じたからです。

- ♥ 三年生になり、就職特別講座を受講しているうちに、少しずつ就職に対する意識が高まったように思います。

③ 業種・職種を決めた時期と理由

- ◆ 十二月頃(学内合同企業説明会で)多くの人に関わりたくと考え、間接的に多くの人と関わるので、商社に決めました。
- ♥ 業種・職種に関しては、全くしぼりませんでした。

④ 会社へのエントリー数と開始した時期

- ◆ 約一〇〇社。七月くらいから開始し、本エントリーは十月以降。
- ♥ 十月から企業がエントリーを開始するので、私も十月からエントリーし始めました。三十社程度エントリーしました。

- ② 実際に就職活動を始めた時期(合同説明会参加や個別企業の説明会参加など)
- ◆ 三年時の六月です。就職を考え始めてからすぐ行動に移し、この





アセンターに電話して、その都度対応していただきました。

⑮就職活動を振り返って父母へ伝えたいこと

♣ プレッシャーを与えずに、相談(話を聞くだけでよい)にのってほしい。

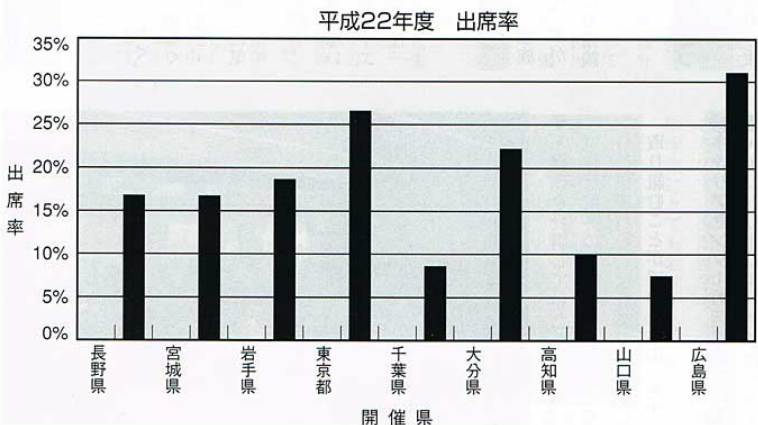
♥ 就職活動は、長期戦なので、心身ともに健康でいられるように両親も気遣ってくれた。友人との情報交換も大切であるが、あまり周りを意識せず、自分らしく就職活動を進めることができた。

平成22年度地区別父母懇談会を終えて

平成22年度 地区別父母懇談会学年別出席者数

実施日	曜日	開催地	開催会場	学年別出席者数					合計	出席率	実出席者数
				4年	3年	2年	1年	合計			
6月19日	土	長野県	ホテルJALシティ長野	7	17	17	18	59		12	
6月19日	土	宮城県	ホテルJALシティ仙台	1	4	1	4	10	16.9%	含、福島・山形 19	
6月20日	日	岩手県	ホテルパルシティ盛岡	10	10	7	10	37		含、秋田・青森 9	
7月3日	土	東京都	本学九段校舎	371	168	172	220	763		271	
7月10日	土	千葉県	本学柏校舎	54	45	26	76	201	26.3%	105	
7月17日	土	大分県	大分センチュリーホテル	9	18	27	25	79	8.9%	九州全県 5	
7月17日	土	高知県	高知サンライズホテル	7	4	3	4	18		四国全県 2	
7月24日	土	山口県	ホテルニュータナカ	1	1	1	1	4	22.2%	中国全県 1	
7月25日	日	広島県	アークホテル広島	3	3	3	1	10		中国全県 4	
		合計		2	5	4	2	13			
				0	1	0	0	1	7.7%		
				2	5	4	2	13		中国全県 4	
				2	1	0	1	4	30.8%		
				642	457	453	496	1880			
				71	73	63	114	321	17.1%	428	

※実出席者数欄は、両親が出席の場合は2人として計算。



七月二十五日(日)、広島会場(アークホテル広島)の開催をもって、平成二十二年度の地区別父母懇談会はすべての日程を終了しました。

開催された九会場の全出席者は、三二二名、全体では17.1%の出席率でした。各地区の在籍数に対する割合を開催地を見ると、長野会場16.9%、宮城会場16.7%、岩手会場18.9%、東京会場26.3%、千葉会場8.9%、大分会場22.2%、高知会場8.9%、山口会場7.7%、広島会場30.8%、合計17.1%と、

場26.3%、千葉会場8.9%、大分会場22.2%、高知会場10%、山口会場7.7%、広島会場30.8%となりました。

これからも会員の皆様のご意見を聞きながら、来年度に向けて地区別懇談会の内容を検討していきたいとおもいます。



文学部教授
文学部主任
牧角 悦子

私は、高校卒業後田舎を出て大学に入学し、ほとんど気分だけで心理学を専攻した。知らないことばかりの世界に飛び込み、入学直後から上級生に誘われて読書会などに参加するなかで、気がついたら研究のおもしろさにはまっていった。授業はそれほどであるが、自分でこだわったことは突き詰めないと気が済まないたちであった。



文学部教授
教職課程長
改田 明子

表題の原稿依頼をいただいて、実は一瞬困ってしまいました。というのは、学生時代を終えてから後の人生がとて大変だったもので、自分の学生時代のことを思い出したり反芻したりすることがほとんど無かったです。大切な思い出も、捨て去りたい過去もない、まだ未成熟な青年時代だったのだと思います。それでも力を注いだことはいくつかあり

三年生のころ、私にとって目の前が開けた出来事があった。当時、私はいま少し学問の場に関わり続けていたいという気持ちになり、大学院への進学を考え始めていた。人並みに学部を出て就職するという道を漠然と考えていた自分にとって、大学院進学はあまりにも突拍子もないことで、親を説得する材料もなければ、自分で進学しようとするかまったく自信のない心境で悶々と過ごしていた。そして、だれかに、「あなたは進学するべきだ」と背中を押してもらいたい気持ちで、まず部活でした。まず部活です。また女子部員のいなかった水泳部に入部し、屋外の冷たいプールで四月から泳ぎました。九州はとにかく封建的な場所です、女だとい

私の学生時代

うだけで様々なプレッシャーを受けます。今から考えれば彼らにむくつけき男どもは、女性の扱い方を知らなかっただけなのだと思いますが、いろいろ苦労をしました。それでも四年の夏まで現役を続けて、数々の大会記録を作りました。当時は女子部門が出来たばかりだったので、種目によっては出場者は一人、泳ぎ切れ

が、部活と遊びに夢中でちっとも勉強しなかったせいで、成績は最悪、人文学科の国文に行けず、中国文学科を選んだことが、今の仕事につながっています。中国文学科への進学者は、私の学年は二人でした。二年次の後半、学科に進学してからは、心を入れ替えて勉学に励み、ほぼ毎日四コマの授業を受けました。当時の一コマは百十分、朝の八時か

でしたと回想を繰り返していると、結構まとめた学生生活を送っていた自分がいます。ただ私はこのあと大学を卒業し、大学院に進学したのですが、多情多恨で波乱万丈な青春時代を疾走し、そのまま故郷を捨てて東京に飛び出しました。学生時代は人生の一ステップ、それも海馬の隅に埋もれた記憶がろうじて繋ぎとめているスナップに過ぎないのかも知れません。

ちでいた。そんな時期、たまたま私は西洋中世史の阿部謹也先生の集中講義を受講した。先生は、本題の合間に、リルケの『若き詩人への手紙』を引用しながら、学問の道を選ぶなら、それをしないと生きていけないような衝動が自分にあるかどうかをまず自分に問うてみなければならぬ、というような意味のことをおっしゃった。私は、自分の甘ったれた気持ちにカツを入れられた。自分が本当に学問をしないかどうかは別にして、まずは自分で「やる」とは大会記録といふのかな時代でした。私の通った大学は教養部があって、二年次の途中から学科の選択をするのですが、部活と遊びに夢中でちっとも勉強しなかったせいで、成績は最悪、人文学科の国文に行けず、中国文学科を選んだことが、今の仕事につながっています。中国文学科への進学者は、私の学年は二人でした。二年次の後半、学科に進学してからは、心を入れ替えて勉学に励み、ほぼ毎日四コマの授業を受けました。当時の一コマは百十分、朝の八時か

宣言しないと何も始まらないのだ、ということに身にしみて実感した。自分の中で何かが変わった出来事であった。それ以来、阿部謹也先生の著作とその人柄にはあこがれつつつけている。

こうしてみると、私のターニングポイントは、気分や偶然の積み重ねだと思ふ。学生時代は、無知ゆえの過ちが多々あったが、たまたま私と出会った恩師や友人には温かく見守っていただいた。これには、ただただ感謝するばかりである。

第14回 中国語・歴史文化研修 報告

本研修プログラムは、本学専用に組まれたもので、午前中は八、十名ずつの少人数クラスによる中国語授業、午後は歴史や文化に関する講義、史跡現地研修、伝統芸能鑑賞など多彩な内容である。

初めは環境の変化に戸惑う学生も見られた

北京大学歴史学系での研修も本年度で十四回目を迎えた。例年の通り、夏期休暇中の八月二十二日から九月十一日までの三週間、三十八名の学生が参加し、文学部田中正樹教授が前半を、同酒井淳吉教授が後半を引率した。

北京大学は中国の首都北京市に位置する国立の総合大学で、一九九九年に本学と協定を締結した。本研修を始め、交換留学生や教職員との相互派遣など、活発な交流を展開している。

研修報告書



北京大学校史館

(柏事務課 田村 悠)

が、研修終盤に差し掛かると、「せっかく慣れてきた頃なのに」と帰国を惜しむ声も聞かれた。三週間と短期間ではあったが、「中国語漬けの充実した毎日だった」、「ふつうの旅行とは一味違った貴重な経験となった」など、満足したことが伺える感想が寄せられている。中には、検定試験や長期派遣留学といった新たな目標を設定して、さらなる学習意欲を示す学生もおり、これも本研修の効果の一端といえる。実際、昨年の研修に参加した学生が、本年九月より北京大学に一年間の派遣留学中である。来年も多く学生の参加を期待している。

「中国語・歴史文化研修」に参加して

文学部中国文学科 四年

山崎 嘉織

今年で十四回目を迎えた北京大学歴史学系での研修は今回最も多い三十八名が参加しました。人数が多いということで、点呼や移動が大変でした。その一方で、新たな人脈を広げられるという利点もありました。

今回、四クラスに分かれて授業を受けました。授業は、毎年担当してくださる林先生と、今回初めて担当してくださった戴先生、史先生、張先生の若い女性の先生方でした。

レベル別クラスでの授業でしたので、とても受けやすかったです。

またクラスごとに中国の歌を先生に教えていただき、練習しました。これによって、クラスのメンバーと先生の仲が一層深まりました。歌を覚え、答礼宴会の時に披露しました。中国の歌を覚えたということが留学の良い思い出の一つになりました。

私は初めて研修に参加した時、中国語を更に勉強したいという意欲がわきました。だから、大学を卒業する前にもう一度研修に参加したいと思いい、今回二度目の参加をしました。研修が始まって、数人の学生から「ど



北京 万里の長城(八達嶺)外国人観光客と一緒に(筆者 後列左)

二松学舎大学 創縁祭 2010

開催日 平成22年11月3日(水)・4日(木)
場所 九段キャンパス

平成二十二年学園祭実行委員長を務めております、小堀真緒と申します。

今年の創縁祭は、「勇!」1(い)3(さ)3(み)をテーマに活動しており、役員一同、勇ましく創縁祭準備に励んでいます。テーマにちなんだ企画もいくつか始動しており、来場者の方々に楽しんでいただける創縁祭を目指すと共に、今年から新体制となった二松学舎大学の勇姿を見せていきたいと思っております。

学園祭実行委員会の企画以外にも部活やサークル、ゼミナールによる発表、書作品の展示、ライブ、模擬店の出店など様々な要素がございます。

また参加型の企画も目白押しです。中洲記念講堂では、「男子ミスコンテスト」を開催いたします。創縁祭の恒例行事となったこの企画の参加資格は二松学舎大学の男子学生であること。可愛く変身した「彼女たち」が、己の美しさを競いあいます。

そして「ミスコン」同様、昨年大好評をいただいた「ヒヨ神社」がパワーアップして帰ってきます。鳥居

をくぐれば、別世界。初詣を前に今年最後のおみくじを「ヒヨ神社」で引いてみるのはいかがでしょう。また、今年は「ヒヨ神社」に対抗して「聖アンディ教会」が設立されました。「ヒヨ神社」の和の雰囲気とは対照的に西洋風の構造になっており、聖アンディ像を後ろから照らし出すステンドグラスの光が幻想的な世界観を作り出します。ここでは、アンディ様からのお告げを聞くこともできます。

他にも、来場者のお悩みに答える「C&J」のなるほど、なるほど、や、難解な問題を次々と出題するクイズ企画など、様々な企画を準備しておりますので、一日楽しめるお祭りになること間違いありません。

開催日一日目の十六時から、テレビでお馴染みの芸能人が二松学舎にもやってきます。全席指定席となっておりますので、ゆっくりと堪能していただけます。当日発売するチケットの買い忘れにご注意ください。

体育館、中洲記念講堂では、限られた時間の中で、音楽ライブ、演武、

ダンス、講演など色濃い団体発表がひしめきあっております。観たい団体を絞ってみるもよし、体育館と中洲記念講堂を渡り歩いてみるのもよし。お目当ての発表だけでなく、色々な団体の発表も是非ご覧になってみてください。

団体発表や企画に限らず、今年も装飾が創縁祭の雰囲気盛り上げていきます。窓ガラスに大々的に設置されたステンドグラス、今年の創縁祭に来た記念を残せる装飾、ペットボトルキャップを使用した装飾などの大きなものから、階段やゴミ箱などの細かい装飾まで、様々な種類の装飾を用意しており、校内をただ歩いているだけでも楽しめるようになっております。

また、校内だけでなく、外には模擬店がズラリと軒を連ねております。焼き餃子、焼きそば、おでん、フライドチキン、お汁粉等、模擬店の種類は多岐に及び、美味しそうな匂いが、小腹の空いた来場者の胃袋を刺激します。衛生面の管理はしっかり行っておりますので、安心して召し上がりください。

都会特有の縦に長い建物の中に、楽しいイベントがぎゅっしり詰まった創縁祭へ、晩秋の風を感じに、是非とも九段まで足を運んでみてください。皆様と素敵な「縁」が創れることを期待しています。

父母会の無料休憩所

Café Isami(133)

12F 1201号室

ぜひお気軽にお立ち寄りください。

* 無料のお茶・コーヒー等をご用意しています *



リラックスコーナーもあります!!

連日、新聞・テレビでは学生の就職難について報道されています。本誌が居るのは、三年生の就職活動が本格的に始まる頃ですが、引き続き大変厳しい就職環境となりそうです。

こんな時こそ、学生の力になれるのはご父母の方の支援です。実際、今年度も東京・千葉の地区別父母懇談会において四年生による内定者報告会を開催させていただきましたが、報告者の二名ともが就職活動において両親のアドバイスで、新たな気づきを得ることができたり、気分転換になったと言っております。

一方で、ご父母の皆様からは、どの程度のことまでをしてあげればよいかわからないとの声を多数いただきましたので、今回、三年生のご父母の方には、リクルードで発行している『保護者のための就職ハンドブック』を同封させていただきます。

「就職活動中の子どもの付き合い方」などがまとめられておりますので、ぜひ一読いただき、お子様の就職支援にお役立てください。また、キャリアセンターにお気軽にご相談ください。

さて、三年生の就職活動ですが、昨年頃からの傾向として、意欲の高い学生と、意欲の低い学生の二極化が進んでいるように感じられます。「就職氷河期の再来」などと騒がれているためか、戦う前から戦意喪失して、就職活動を行わない学生が見受けられるようになりました。これは本学に限らず他大学でも同様のようですが、だからと言って見過ごしてよい問題ではありません。

キャリアセンターでは、三年生全員に個人面接を実施しています。その中で、今後の進路について、学生たちの考えを聞いていきますので、個人面接には必ず参加するようにご指導ください。

今現在、目標を持っていなくても構いません。そのことを伝えに来てくださいます。そこからどのようにしていったらよいかを一緒に考えていきたいと思っております。

後期の就職特別講座では、履歴書・エントリーシートの書き方やマナー講座など、実際の就職活動のテクニックを学ぶとともに、人事担当者・社長を招いての模擬面接を行います。

キャリアセンターだより

す。その中で企業側からの視点を学びます。

また、学内合同企業説明会も開催いたします。本学学生を積極的に採用していただいている企業を中心に多くの企業に参加をお願いしております。学内合同企業説明会は、企業の方も大変力を入れており、積極的な参加が内定への近道となります。

他学年の状況および対策についてご報告させていただきます。

一年生対象の「キャリア教育①」の授業が始まりました。早いうちから将来の自分のキャリアについて、真剣に考えていけるようなきっかけづくりをしていきます。

二年生の「キャリア教育③」では、社長を招いての講演なども行います。

また、教員採用試験・公務員試験を考えている学生は、そろそろ本格的な準備が必要となります。一般企業への就職と、教員・公務員試験の対策を並行してできないのかという相談を学生・ご父母両方から受けることがあります。公務員(特に行政職)試験などは、専門学校等

ダブルスクールで対策を行っている人々が相手となりますので、強い覚悟を持って、計画的に取り組むようにしてください。

最後に四年生の就職状況ですが、本学でも非常に厳しい状況です。ただ、秋採用の求人が増えているので、「あきらめない」ことが重要です。

内定辞退や、社員の人事異動などによる欠員補充には、就職サイトを問わず、直接キャリアセンターに求人があることがほとんどです。何度もお伝えしておりますが、キャリアセンターを積極的に利用していただくことが今後の内定への最善の方策です。

もし、未内定の学生さんがおりましたら、今からでも遅くありませんので、キャリアセンターに足を運ぶようにご指導ください。最後まで「あきらめない」強い気持ちを持った学生を、全力でサポートしていきたくと思っております。

十月からは、政府の緊急雇用対策の一環として、本学にもキャリアアカウンセラーを配置し、四年生の就職活動のサポートを強化しています。また、「就業力育成事業」にも申請し、さらなる就職支援の強化を目指してまいります。

海外研修報告

国際政治経済学部 教授 河原田 有一

第七十四回国際法協会世界大会に出席するため、オランダ王国の政府所在地ハーグに行ってきました。

ハーグは国際司法裁判所、国際刑事裁判所等が所在し、また、国際間にまたがる条約等を審議するために多くの会議が開催される国際都市です。

現在の国際司法裁判所の所長は小和田恒判事であり、同裁判所の所長となつた日本人は戦前の安達峯一郎判事以来二人目である。

同裁判所においては田中耕太郎、小田滋氏等の一流の法学者が戦後一貫として判事をつとめており、ハーグと日本との関係は非常に緊密である。

ひさかたぶりのハーグにおいて、国際法協会が開催されたことにより日本からも多くの学者及び関係者が参加した。

今回の大会において議論された中心の課題は、やはり、国際的な環境に関する規制及び国際的な金融取引に関する規制の問題である。これらの問題は多くの国が協調して条約を批准してこそ効力をもつこ



(左より) 渋谷駐オランダ大使、香西京大名譽教授、河原田教授、柳井国際法協会日本支部長(元駐米大使) 在ハーグ、駐オランダ日本大使公邸にて

とができるからである。

また、国際結婚に伴う離婚後の子の親権に関する条約についても日本が未加盟であることから今後注目される問題点であった。

国際法協会は単に国際公法上の争点だけでなく、国際私法、会社法、経済法、刑事法等あらゆる法を国際的視点から研究対象としている。

今回の参加は私の研究課題である米国の連邦制度と裁判管轄権に関する問題についても大変参考となった。

ダブルスクールで対策を行っている人々が相手となりますので、強い覚悟を持って、計画的に取り組むようにしてください。

最後に四年生の就職状況ですが、本学でも非常に厳しい状況です。ただ、秋採用の求人が増えているので、「あきらめない」ことが重要です。

内定辞退や、社員の人事異動などによる欠員補充には、就職サイトを問わず、直接キャリアセンターに求人があることがほとんどです。何度もお伝えしておりますが、キャリアセンターを積極的に利用していただくことが今後の内定への最善の方策です。

もし、未内定の学生さんがおりましたら、今からでも遅くありませんので、キャリアセンターに足を運ぶようにご指導ください。最後まで「あきらめない」強い気持ちを持った学生を、全力でサポートしていきたくと思っております。

十月からは、政府の緊急雇用対策の一環として、本学にもキャリアアカウンセラーを配置し、四年生の就職活動のサポートを強化しています。また、「就業力育成事業」にも申請し、さらなる就職支援の強化を目指してまいります。

学生相談室 だより 70

カウンセラー 原 信夫

記録的な猛暑の夏も終わり、秋セメが始まりました。気温の変化が激しかったため、体調を崩された方も多かったのではないのでしょうか。大学生の就職をめぐる状況は大変に厳しく、三、四年生でなくとも不安や心配にかられる学生も多かったと思います。

日常の些細な心配や悩み、対人関係のトラブル、試験や就職など、心のしかかっている困りごととはみな、ストレスと考えることができます。

ストレスとは、もともと外からの有害な刺激と、それに対する反応という意味。それでは何がその人にとって有害な刺激となるか?これには本人の受け取り方や見方が影響していると考えられています。例えば、勉強が得意な学生にとって、試験はストレスでも何でもないでしょうが、勉強が苦手な学生で、しかもこの試験を落としたり留年という状況になったら、試験は大きなストレスになることでしょう。

ストレスへの対応はいくつかの

タイプにわかれます。まず、ストレスを引き起こした問題を解決すべく、ひたすら頑張るやり方。解決に至れば成功ですが、頑張ってもなかなか解決しない場合、かえってストレスが増すのが難点です。次に、気持ちに焦点を当てて乗り越えるやり方。気持ちの切り替えや気分転換ができれば成功です。しかし、感情に注目しすぎて、余計に悩んでしまつては失敗です。

もう一つ、逃避や回避といわれる対応もあります。考えない、先延ばし、やめるといったり方。やめても大丈夫なら、それにこしたことはないのですが、えてして逃げられずに困ることが多いものです。それでも、一時的にでも逃避するのはいいかもしれませぬ。

ストレスに合わせて、対応をうまく組み合わせられれば一番です。時に頑張る、あるときは切り替え、またあるときはやめてみる。頭の片隅にとどめておくといいいのではないのでしょうか。

大学通信

二松学舎の近況を

ホームページで

本学のホームページには、大学の歴史や、学長からのメッセージ、教員紹介から、最近の本学の動向、さらには、公開講座やシンポジウム、漢詩コンクール、「論語」の学校など多彩な催しものご案内など、法人や大学のさまざまな情報が掲載されています。「出版物・刊行物」のページでは、「二松学舎大学父母会報」をはじめ、広報誌「学」や「二松学舎新聞」など、二松学舎が発行するさまざまな刊行物の内容や記事を読むことができます。

さらに、各学部学科のホームページでは、スペシャルコンテンツとして「二松学舎国文学科の「お宝」紹介」、「三国志の英雄 人気のお宝」、「海外事情紹介」などの興味深い記事も掲載されています。併せて、父母会ホームページも、父母会活動内容や、行事の写真を多く掲載しています。

どうぞご利用いただきたいと思えます。

《芹川ゼミナール》

僕たち芹川ゼミの活動は鍋に似ている。おそろく鍋料理に喩えることが出来るなど、これまでの活動を振り返ってみて、そう感じる。

日本と朝鮮半島には様々な食材が売られている。それを適宜買ひ漁り、日韓比較ゼミという名の鍋に投げ込む。料理、芸能、信仰、宗教、昔話、政治、刑罰、外交、経済、歴史、教育、アイドルに恋愛。キリは無いが、無造作に入れた食材を煮詰めてい

わたしたちは今年度から始まった仮名専門のゼミです。女子十八人、男子二人の計二十人で福島一浩先生に指導をして頂いています。

現在ゼミでは、本阿弥切、針切、関戸本古今集、中務集、山家心中集の五種類に分かれ、一年間に渡って臨書、俳句の創作、仮名美の抽出と結果を学んでいます。又、音楽や絵画等他ジャンルにも積極的に目を向けて味わい、書美を自分の中に蓄える

《福島ゼミナール》

ゼミ探訪

くと、同じ白菜からお新香とキムチのように、枝分かれする料理がたまに飛び出てくるから面白い。僕達の活動はこのように、自分達がその時々々に興味を持った話題を、討論を通じて調理していく作業であり、先生を含め四人で鍋をつつく食卓でもあ

こう書くど昼前(ゼミの時間は昼ご飯前)からお前達は鍋料理かと、ちよつと変な気分になるけど、そこはまあ大学生。色々ある選択肢から自分が何を選ぶのか、どのようにして食べるのか。これを食べると決めてもらうのは楽で

ことにより一層自分を高めています。

課題は主に、臨書、各古典を用いて集字した大字の半切作品制作、テーマに基づいたレポート等です。この課題をこなし先生の毎回の授業を受ける事によって、始めた当初よりゼミ生の仮名に対する意識がかわってきたと思います。

夏合宿では群馬県の水戸へ行き、ゼミ展へ向けての作品制作や、様々な伝統工芸を体験する事によって、ゼミ全体に団結力が生まれま

今後は、五種類の古典以外の日本の書、藤原佐理、良寛等を学んだり、校外展に向けての作品制作を中心

文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に、本学の「就業力育成一ホップ・ステップ・ジャンプ」が採択

文部科学省が支援する「大学生の就業力育成支援事業」に、本学の「就業力育成一ホップ・ステップ・ジャンプ」が採択されました。

このプログラムは、当面は国際政治経済学部とキャリアセンターが協力し、初年次からのキャリア教育の徹底と、学部科目との融合をはかるとともに、その成果を、ポートフォリオを用いて効果的に把握・測定し、全学での学生支援体制を構築することを目指すものです。ポートフォリオについては、全学生に導入する予定です。

本事業は、平成二十二年度から五年間の事業となります。

併せて、文部科学省の助成による緊急支援対策として、四年次生を対象にした、キャリアカウンセラーを配置し、就職・キャリア支援を行っています。

一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

平成22年度 特別事業実施報告

二松学舎大学130周年記念父母会奨学金(第2種奨学金)について報告いたします。

奨学金 採用結果

年次	応募者	採用者
2年次生	13名	10名
3年次生	12名	10名
4年次生	23名	10名
合計	48名	30名



奨学金

■第二種奨学金(受付は終了しました)

応募資格は、本学に在籍する学部生で、本学の教職課程を履修中且つ将来教員となることを強く希望している二年次生、三年次生及び四年次生を対象とする。なお、四年次生については、この奨学金の申請時に教員採用試験に申し込んでいる学生。

※各学年十名以内

※給付金額十万円(給付)

採用結果は次のとおりです。採用者三十名については、給付しました。

中国文学科四年 平崎 真右



論語の学校

RONGO ACADEMIA

二松学舎では来る十一月二十七日、平成二十二年度『論語』の学校 | RONGO ACADEMIA | を開催します。

平成十七年度に開始した「シンボジウム『論語』」の成果を踏まえ、昨年度から、装いも新たにスタートしたこの『論語』の学校』では、より対象を広げた『論語』と古典教養の普及をめざし、『論語』そのものの解釈や理解を、より分かりやすく解説すると同時に、『論語』を生きた知恵として実社会に実践している方々のお話を紹介します。

今年度は、日本資本主義の先駆者『道徳経済合一説』論者で、本学第三代会長、渋沢栄一の玄孫、澁澤健氏と本学文学部 田中正樹教授のお話を伺います。

二松学舎はその基礎である漢学塾の伝統、古典教育による教養の涵養を、ここでもう一度学内外に発信していきたいと考えています。

日時 十一月二十七日(土)
十三時~十七時
会場 九段1号館中洲記念講堂
参加費 無料
内容 論語入門

文学部中国文学科教授 牧角悦子
講演①

渋沢栄一の『論語と算盤』の現代意義と原点から考える新しい資本主義と企業経営

シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役CEO、コムンズ投信株式会社 会長 澁澤健 講演②

宋代の知識人と『論語』
文学部中国文学科教授 田中正樹
素説実践
元学長・名誉教授 石川忠久

お問い合わせ
電話 03(3261)1298
(企画・財務課)



卒業記念品として学校生活の思い出が詰まった卒業アルバムを、父母会から贈呈します。

つきましては、左記のとおり卒業アルバム用の写真撮影を実施します。特に個人撮影については、この機会を逃すと卒業アルバムに記載されないこととなります。(名前のみの記載になります)

是非ご撮影下さいます様、お声をかけて下さい。

★撮影期間

10月18日(月)~10月22日(金)
11月17日(水)~11月18日(木)

★撮影時間

10時~16時30分(全日)

★撮影場所(九段校舎)

個人写真：地下2階学生ホール
ゼミナール写真：1階正面入口階段前(雨天時は地下2階学生ホール)

※ゼミナールに所属している学生は、ゼミナール集合写真を撮影します。
ゼミナール写真は、ゼミ毎に指定された日時に撮影します。詳しくは、学内の掲示でお知らせします。

※やむを得ない事情により、右記日程で個人写真を撮影できない場合は、各自で撮影された写真を掲載致します。縦4cm×横3cmの写真を教学課へご提出ください。

写真提出は、窓口・郵送のどちらでも構いません。提出の際は、写真裏面に必ず学生番号・氏名をご記入ください。

なお、郵送の場合は「教学課 卒業アルバム係」宛でお送りください。

編集後記

秋も本番を迎え、大変過ごしやすい季節となりました。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今回の会報では六月から七月にかけて全国九会場で行われた地区別懇談会の内容をご報告いたします。東京会場(九段校舎)二十七名の参加をはじめ、全体では四二八名の会員の皆様にご参加いただきました。

今回ご夫婦お二人でのご参加が多く見受けられました。会員の皆様の間心の強さを感じられました。午前中の内容はもとより午後の学生の就職活動の実験話などは大変好評でした。午後の参加も是非お勧めいたします。

また、我々会員のなかに今年「東京海洋大学」に新入生として入学された方がいらつしやいます。会員の皆様のなかでも新たなご趣味を始めたり子供と一緒に勉強にチャレンジしたりされた方も多くいらつしやると思っています。今後会報の中でご紹介できればと思います。ご意見と合わせてお待ちいたします。

さて、今年も十一月の「創縁祭」に「父母会休憩室」を準備してお待ちしております。大学に直接足を運ぶ機会は限られています。

是非ご家族での参加をお待ちしております。